



# [ 社外の評価・意見 ]

## 1 . 環境経営格付

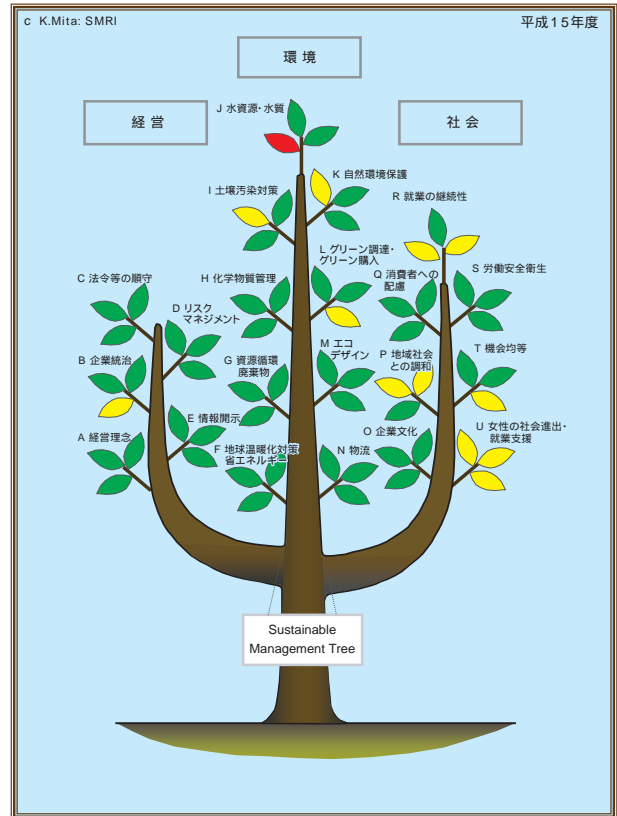
NPO法人環境経営学会の環境経営格付機構による「2003年度環境経営格付け評価」を受けました。

この格付けは、環境対応を含む企業の社会的責任や持続可能性への対応状況を総合的に評価するもので、「経営健全性(5項目)」「環境対応(9項目)」「倫理・社会対応(7項目)」の3つの分野に対しそれぞれ「戦略」「仕組」「成果」の3側面からなる63評価項目で構成されています。

評価にあたっては、189の設問、371の必須要件に対する事前調査票への回答、その裏付け確認のための2日間にわたるエビデンス審査、さらに、社長への直接インタビューによる企業経営姿勢・環境への取り組み方針の確認が行われました。

評価結果は右のツリー図のとおり、50項目が優(緑葉) 12項目が良(黄葉) 1項目が可(赤葉)でした。

今後ともこのような格付審査への参加を通じ、社会的な評価を真摯に受け止め、いただいた貴重なご意見を参考に取り組み改善を進めていきます。



## 2 . 環境レポート大賞(奨励賞)受賞

2004年1月16日、第7回環境レポート大賞表彰式(主催:(財)地球・人間フォーラム・(社)全国環境保全推進連合会)が開催され、当社の奥只見・大鳥増設建設所において作成した「奥只見・大鳥発電所増設工事における環境保全の取り組みの実績 環境報告書 2003」が環境報告奨励賞を受賞しました。

審査の講評では、周辺の環境要因に関する記述が豊富

奥只見・大鳥増設建設所 環境報告書

なことが事業の特性から適当であり、期間限定の事業所事業における環境報告書のあり方を問う先駆的な取り組みであるとの評価を頂きました。

また、報告書の製作にあたり大学生(研修生)も参加しており、このことも報告書に外部の視点を加えるなどコミュニケーションツールとしての工夫がみられるとして評価を頂きました。



環境報告書



第7回環境レポート大賞表彰式



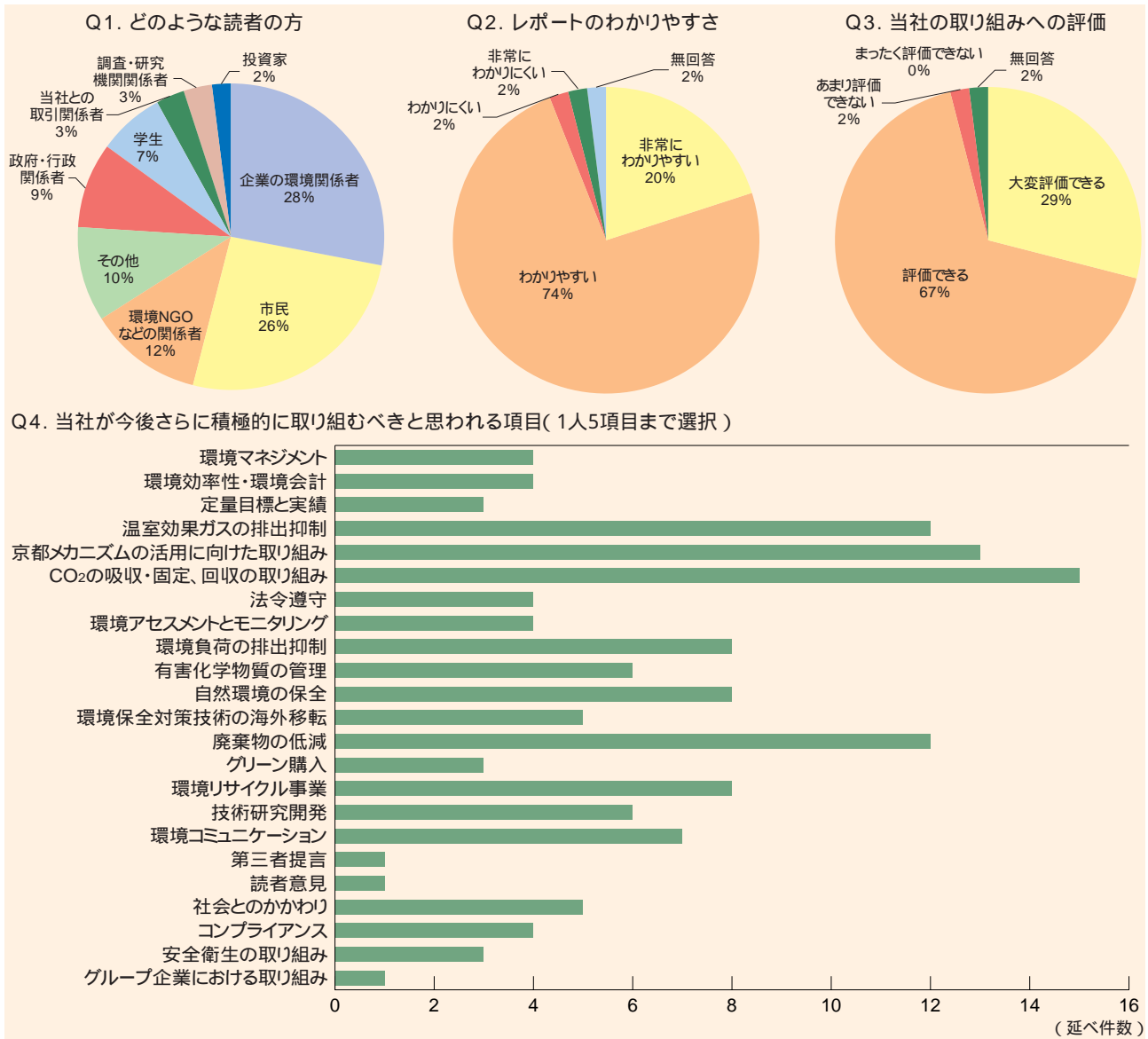
賞状

### 3. 読者意見

2003環境・社会行動レポート（2003年8月発行）に対し、読者の方々よりご意見を頂きました。

当社は、これらのご意見を今後のレポート作成や環境経営推進への大切なメッセージとして受け取り、今後の業務に役立ててまいります。

#### アンケート集計結果(2004年6月末時点:回答者計45名)



社外の評価・意見

#### Q5. 当社に期待する具体的な行動

代表的なご意見	当社の取り組み
温室効果ガスの排出抑制とアピール (企業の環境関係者)	火力発電所の高効率運転などエネルギー利用効率の維持向上、水力発電等CO <sub>2</sub> 排出の少ない電源の開発、技術の開発・移転・普及、さらに京都メカニズムの活用など地球規模での対策を推進します。毎年発行する環境・社会行動レポートなどで取り組み状況を報告いたします。
廃棄物排出ゼロへ向けた取り組み (企業の環境関係者)	当社の産業廃棄物のうち99%は石炭灰です。国内のみならず海外との連携によりセメントや肥料などの原材料として有効利用を推進します。
CO <sub>2</sub> の吸収・固定、回収 (市民)	海外植林やCO <sub>2</sub> 地中貯蔵に向けた研究などを推進します。
自然エネルギーへの転換 (市民)	風力発電については経済的に開発可能で系統上の支障などのない地点から順次開発します。また、バイオマス混焼にも積極的に取り組みます。
トラブルの開示 (環境NGO等)	今後とも環境・社会行動レポートなどにて報告いたします。
海外のエネルギー問題の解決(学生)	海外技術コンサルティング、政府専門家派遣、海外研修生受け入れ、IPP事業への参画などの取り組みを推進します。
低公害な新しい発電方法の開発 (政府・行政関係者)	世界中に豊富に存在する天然資源である石炭をガス化し、燃料電池と組み合わせて発電に利用する、クリーンで高効率な複合発電システムの開発を推進します。